

2010年7月28日

オールインワン構成の「おてがる仮想化パック」で基幹業務システムを提供開始

「SuperStream」と「VMware vSphere™ 4」を組み合わせ、中堅・中小規模企業向けに展開

株式会社日立情報システムズ（取締役社長：原 巖、本社：東京都品川区大崎、以下 日立情報）は、**VEIエムウェア株式会社**（以下 **VEIエムウェア**）、**エス・エス・ジェイ株式会社**（以下 **エス・エス・ジェイ**）と協業し、財務会計・人事/給与パッケージ「**SuperStream-CORE** シリーズ」と仮想化ソフト「**VMware vSphere 4**」を組み合わせたシステム環境を、「おてがる仮想化パック」のラインアップの一つとして中堅・中小規模企業向けに提供開始します。

「おてがる仮想化パック」は、サーバ統合の設計から、仮想化システム構築によるサーバ統合、管理者教育、保守までをセットで提供するオールインワンパックです。短期間に低コストで仮想化環境を導入したいお客様のニーズに応じて多くの企業や団体に採用されており、用途別に「**エコモデル**」、「**スタンダードモデル**」、「**ノンストップモデル**」の3種類を用意しています。

近年の仮想化システムの普及と技術の進歩に伴い、仮想化環境を導入できるシステムの幅が広がってきました。一方でお客様のニーズも、開発・検証機の統合といった小規模な仮想化から、会計システムなど基幹システムの仮想化へと多様化してきました。

こうしたニーズの広がりや、**エス・エス・ジェイ**が本年4月に「**SuperStream**」製品の「**VMware vSphere 4**」への対応を正式表明したことを受け、日立情報では「おてがる仮想化パック」と財務会計・人事/給与パッケージとして実績^(*)ある「**SuperStream**」をセットにしたオールインワン構成を、他社に先駆け提供します。これにより、仮想化の対象範囲が基幹業務へと拡大し、企業ではシステムの集約化により、より一層のコスト削減、電力消費低減、可用性向上が可能になります。

今後も日立情報では「おてがる仮想化パック」のラインアップを強化するとともに仮想化ソリューションの拡販に注力し、2011年度（2012年3月）までに25億円（累計）の販売を目指します。

*1 SuperStreamの累計導入社数は、5,700社以上です。（2010年3月末現在 エス・エス・ジェイ調べ）

なお、本発表に際し**VEIエムウェア**および**エス・エス・ジェイ**から以下のコメントをいただいています。

VEIエムウェア株式会社 代表取締役社長 三木 泰雄氏

VEIエムウェアは日立情報システムズが**エス・エス・ジェイ**の**SuperStream**と**VMware vSphere**を組み合わせ提供すると発表されたことを心より歓迎いたします。**エス・エス・ジェイ**は、多くの企業で導入実績のある統合業務パッケージ**SuperStream**を**VMware vSphere**に対応することを表明しています。日立情報システムズは**VMware**ソリューションプロバイダープレミアムパートナーとして、**VMware**の仮想化ソリューションのコンサルティング、構築、運用など、大手から中堅・中小のお客様に対して幅広く提供されております。**SuperStream**と**VMware**の組み合わせたソリューションは、IT関連コストの削減を実現し最小限の投資で最大限の効果を出し、特に中堅・中小規模企業のお客さまにとって最適なシステム構築を可能にするものと考えております。

エス・エス・ジェイ株式会社 代表取締役社長 谷本 善男氏

エス・エス・ジェイは、日立情報システムズによる仮想環境での**SuperStream**の積極展開を歓迎いたします。近年急速に導入が進んでいる企業システムの仮想化は、コスト削減やセキュリティ強化などのメリットをお客様にもたらし、今後より一層導入が進むと確信しています。

今後当社でも、日立情報システムズと共に、仮想環境でのSuperStreamの販売促進や技術支援に積極的に取り組み、お客様に最適なシステムの構築、導入をサポートしてまいります。

<「おてがる仮想化パック」について>

「おてがる仮想化パック」では、利用用途に応じた「エコモデル」「スタンダードモデル」「ノンストップモデル」の3種類をラインアップしています。仮想化ソフトに「VMware vSphere 4 advanced」を採用し、計画的または計画外のダウンタイムからビジネスクリティカルな「SuperStream」の安定稼働を保護し、高い可用性を提供します。また、VMwareの代表的な機能であるvMotionやHAをサポートしています。

<http://www.vsolution.jp/vmware/otegaru-pack/>

<お客さまからのお問合せ先>

商品問い合わせ窓口

お問い合わせWebフォーム：<http://www.hitachijoho.com/contact/>

<報道機関の問い合わせ先>

CSR本部コーポレート・コミュニケーション部 松林、杉山

TEL 03-5435-5002 (ダイヤルイン) email: press@hitachijoho.com

以上

記載の会社名、製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。